

編集後記

退院の条件として「トイレ動作が可能になれば連れて帰りたい…」と言う家族の声をよく耳にする。時にそれを可能にするための理学療法が提供される。トイレは1日に何度も使用するため、毎日清潔に掃除し、臭いを消し、消臭剤や洗剤やペーパーがなくなれば買い物へ行き、取り付けなければ不衛生になる。家族の誰かがそれを担っており、トイレ動作が可能になって連れて帰れるのは家族がいる場合のことで、独居なら何らかの支援がなければ帰れない。毎日バランスのよい食事をして、体を清潔に保ち、掃除をして、寒暖に合わせて家を管理する。患者が退院した後の生活で、それらが長期間継続できるか否かを見極める。患者の退院後の生活を理解するためには、自らも「生活者」として成長しなければならない。

さまざまな要素が複雑に絡み合う退院支援で、理学療法士はどの部分に力を注ぎ、どう動き、何を説明していけるか…。複雑であっても明確にできる部分はみつかるはずで、そうした期待を込めて本特集を企画した。退院支援看護師は一定の規模の病院には必ず配置されているのに対して退院支援理学療法士はメジャーではないが、特集のはじめに退院支援理学療法士の役割を述べた。配置した後の効果は予想外に大きく、今までとは異なる方向から理学療法士の教育について考えることができた。また、東京大学医学部附属病院のような特定機能病院でも、短縮化する在院日数のなかで、非常に短い期間に早期から在宅支援が行われており、その概要について安井健先生らに述べていただいた。いわゆる退院支援を目的とする医療機関については、地域包括ケア病棟の退院支援を穂本宇未先生に、回復期リハビリテーション病棟の退院支援を井出伸二先生にご執筆いただいた。そして、退院後の在宅生活を知り得る先生方からの退院支援の着目点について、訪問理学療法では伊藤卓也先生から、外来理学療法では清水暁彦先生に述べていただいた。

在宅医療が重視されるなか、退院支援の視点を介護保険等ではない在宅医療にも向け、新たな理学療法を模索しなければならない。過去には入院の理学療法が重視された時代があったが、入院と訪問・通所の狭間にあるのが外来理学療法であり、退院支援を充実させるためには外来の理学療法をもっと活用し、工夫し、充実させていく必要があるのではないかな。

(金谷さとみ)

理学療法ジャーナル

第52巻 第12号

2018年12月15日発行(毎月1回15日発行)

定価: 本体 1,800 円+税

発行 株式会社 医学書院
代表者 金原 俊
〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通(03)3817-5704
(担当: 有賀・佐井・川上・前野)
販売部直通(03)3817-5659
ファクシミリ (03)3815-7802
E-mail ptj@igaku-shoin.co.jp
Web http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/ptj/
振替口座 00170-9-96693 番
印刷所 三報社印刷(株) ☎(03)3637-0005
広告申込所 (株)医薬広告社 ☎(03)3814-1971

2018年 年間購読料(送料弊社負担・本体価格)
冊子版 19,920 円
冊子+電子版/個人 22,920 円
電子版/個人 19,920 円
冊子版/学生割引 15,960 円
冊子+電子版/学生割引 18,960 円
電子版/学生割引 15,960 円

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2018. Printed in Japan
・本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有しています。
・本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
・**[COPY]** <出版者著作権管理機構委託出版物>
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。
*「理学療法ジャーナル」は、株式会社医学書院の登録商標です。

編集顧問

安藤 徳彦
上田 敏
大川 弥生
高橋 正明
鶴見 隆正
奈良 勲
福屋 靖子

編集委員

網本 和
内山 靖
金谷さとみ
高橋 哲也
永富 史子
福井 勉
山田 英司
横田 一彦
吉尾 雅春

編集同人

伊橋 光二
大場 みゆき
岡西 哲夫
神谷 健太郎
日下 隆一
甲田 宗嗣
河野 礼治
小塚 直樹
酒井 桂太
佐藤 秀一
佐藤 房郎
塚田 鉄平
塚本 利昭
富樫 誠二
長澤 弘
長野 由紀江
中林 美代子
中村 春基
野添 匡史
長谷川 隆史
濱出 茂治
備酒 伸彦
日野 工
平野 明日香
深浦 順一
福田 恵美子
二木 淑子
星 文彦
松田 雅弘
丸田 和夫
諸橋 勇
八木 麻衣子